

## 4歳児 さくら組 指導案

### 1 幼児の姿（1学期）と教師の願い（省略）

### 2 期のねらいと内容（Ⅴ期）

〈ねらい〉

- 気の合う友達と思いを伝え合い、イメージを共有しながら遊ぶことを楽しむ。
- 身近な秋の自然に触れ、関わって遊ぶことを楽しむ。

〈内容〉

- 運動遊びに親しみ、進んで体を動かす。
- 友達と一緒に曲に合わせて踊ったり動いたりする。
- 自分の思いを伝えたり、教師や友達の話を聞いて相手の思いに気付いたりする。
- 身近な秋の自然物に関わり、取り入れて遊ぶ。

### 3 週のねらいと内容（10月30日～11月3日）

〈ねらい〉

- 友達と一緒に共通のイメージをもって遊ぶ楽しさを味わう。
- 身近な秋の自然物に親しんだり触れたりすることを楽しむ。

〈内容〉

- 気の合う友達と誘い合って、一緒に遊ぶ。
- 体を十分に動かして、いろいろな運動遊びをする。
- 友達に自分の気持ちを伝えようとする。
- 木の葉や木の実など、自然物を使って遊ぶ。

### 4 本日の指導計画

#### （1）ねらい

- 好きな遊びをする中で、自分の思いを出しながら友達と遊ぶ楽しさを味わう。
- 身近な秋の自然に親しみ、触れたり遊びに使ったりすることを楽しむ。

#### （2）予想される幼児の生活・内容と教師の援助・環境構成

時 間	予想される幼児の生活・内容	教師の援助・環境構成
8:30	〈 登 園 〉 ○登園時の活動をする。 ・友達や教師とあいさつを交わす。 ・持ち物の始末をする。	○一人一人の幼児の健康状態を把握するとともに、笑顔であいさつをしたり言葉かけをしたりしながら温かく受け入れ、安定した気持ちで生活が始められるようにする。 ○身の回りの始末では自分でしようとする気持ちを大切に、スムーズにできるよう見守ったり、励ましたりする。
8:50	○好きな遊びをする。 ・花に水やりをしながら、親しみや関心をもつ。  ・長縄跳びに挑戦する。	○教師も幼児と一緒に遊びながら、遊具や用具の安全な使い方や遊び方を気付かせる。 ○幼児と一緒に水やりをし、幼児が気付いたことに共感しながら、親しみがもてるような言葉かけをしていく。 ○幼児の跳ぶタイミングに合わせて縄を回したり、跳べたことを共に喜んだりして、挑戦する姿を認めていく。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と一緒にリズム遊びをして体を動かすことを楽しむ。</li> <li>・秋の自然物を使って製作をする。</li> <li>・スイングスキップに挑戦する。</li> <li>・コマなし自転車に挑戦する。</li> <li>・やりたい遊びを見つけて、友達や教師と一緒に遊ぶ。</li> <li>・自分の思いを出したり友達の思いに気付いたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教師も仲間入りして一緒に踊りながら、曲に合わせてリズムカルに体を動かしたり、友達の動きをまねたりする楽しさに共感していく。</li> <li>○ドングリや木の枝、製作に必要な用具等を扱いやすいように整理しておき、教師も一緒に作りながら幼児のイメージを広げたりつなげたりしていく。</li> <li>○年長児のようにできるようになりたい、という幼児の思いを受け止めながら、自分なりにできた嬉しさに共感していく。</li> <li>○幼児の様子に合わせて手を添えたり、挑戦する姿を応援したりしながら、それぞれの幼児の目標に向かって取り組む姿をしっかりと認め励ましていく。</li> <li>○なかなか自分から遊びを見つけられない幼児の思いを汲み取りながら、必要に応じて他の幼児の遊びの様子を知らせたり誘ったりする。</li> <li>○思いや考えの違いからいざこざが起きた時は、教師はそれぞれの幼児の思いを受け止め、相手の思いにも気付くように知らせていく。</li> <li>○年長児が率先して手順良く片付けている姿を知らせ、それぞれの幼児の姿を認めたり励ましたりしながら協力して片付けができるようにしていく。</li> </ul>
9 : 50	○片付けをする。	○自分で降園準備をしようとする姿を見守りながら、必要に応じて援助する。
10 : 00	○降園時の活動をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・降園準備をする。</li> <li>・絵本を見る。 『ごろりん ごろん ころろろ』</li> </ul>	○主人公とその友達の温かい思いやりの心が自分のことのように感じられるよう、擬音語や声の高さ、抑揚、間の取り方に気を付けながら読む。 ○ゆったりとした雰囲気の中で今日の遊びや生活について振り返り、明日の活動に期待がもてるようにする。
10 : 15	〈降園〉	○保護者に今日あったことを伝えたり、幼児一人一人と握手をしながらあいさつをしたりして、安定した気持ちで降園できるようにする。

## 5 評価 (○：幼児 ●：教師)

- 自分の思いを出し友達と楽しく関わりながら、遊ぶ楽しさを味わうことができていたか。
- 身近な秋の自然に興味をもち、遊ぶことができていたか。
- 幼児が思いを出しながら友達と関わる姿を見守り、友達や教師と一緒に活動することを楽しめるような援助ができていたか。
- 幼児が自分の思いを出しながらいろいろな遊びに興味がもてるような環境の構成や工夫ができていたか。